



大阪日々新聞紙

四第号

開化多んく盛ん小一そ

万民常闇の長爰を覚を

受小明治年四月始通三自

拍原屋平其ハ世々書日籍

繁糸商より人のある心かて

萬本齋くが中本店

先地球議を出

せり或日一童子

親の杖を助け此門不

イ立皇子地球美を指さし其心を問ふ

答るよとわさり童子見細大世界を道す

度敷寒暖不至る迄親小懇諭深切あるを感ふ

名を尋る内勿然と立去る実小文明の時至り億兆の

民見微鏡の究理おろひて

知識賢者の徒頭を抽で

勉強をみくらん博く世界の

一頁と方々此時おろふや



諸本類

和漢洋

新世代
美松堂

修善堂
馬士改板

ホリ九一